

Parent Report Raw Text

Box 1, underneath score table:

このレポートについてのご質問は、お子さんの学校にお問い合わせください。このレポートの見方については、お子さんの先生、またはカウンセラーにお尋ねください。

Box 2, top right:

左のグラフには、ELPA (English Language Proficiency Assessment:英語習熟度検定) の各分野の点を合計した総合点によるお子さんのレベルが表されています。レベルは、基礎的なレベル B (Basic) から AP (Advanced Proficient) まで5段階に分けられています。各レベルについては下に説明があります。グラフ中のマークの上にならされている3桁の数字が、お子さんの総合点です。

グラフの下には各分野における成績が示されています。二桁の点数は各分野におけるお子さんの成績で、Cut Score とは取得しなければならない最低限の点数です。お子さんの成績がこの Cut score より高い場合は、その分野におけるお子さんの英語力が習熟のレベルにあることを示し、低い場合は習熟レベルに達するための努力が必要であることを示しています。

この検定の結果は、お子さんが英語を学んでいる過程における一つの目安にすぎないことをご理解ください。このレポートについてお子さんの現在の先生とお話しされることをお勧めします。先生は、次のELPAへの準備として、学級での成績や学習状況について、さらなるガイダンスを提供することができます。ELPAについてお知りになりたい場合は <http://www.michigan.gov/elpa> をご覧ください。

Box 3, bottom right:

PERFORMANCE LEVEL DESCRIPTORS

成績のレベルについて

Advanced Proficient (AP : 上級習熟レベル) このレベルは、「聞く、読む、書く、話す、理解する」の分野に渡って、ミシガン州がこの学年のレベルとして定めている複雑な英語を理解する力と応用する力を十分に持っていることを示す。

Proficient (P : 習熟レベル) このレベルは、「聞く、読む、書く、話す、理解する」の分野に渡って、ミシガン州がこの学年のレベルとして定めている英語を十分習得していることを示す。

High Intermediate (HI : 中級の上レベル) このレベルは、「聞く、読む、書く、話す、理解する」の分野に渡って、ミシガン州がこの学年のレベルとして定めている英語をほとんど習得していることを示す。

Low Intermediate (LI : 中級の下レベル) このレベルは、「聞く、読む、書く、話す、理解する」に渡って、ミシガン州がこの学年のレベルとして定めている英語を部分的に習得しているか、習得途中にあることを示す。

Basic (B : 基礎レベル) このレベルは、「聞く、読む、書く、話す、理解する」の分野に渡って、ミシガン州がこの学年のレベルとして定めている英語の最小限を習得しているか、全く習得していないことを示す。

Mike Flanagan's letter on reverse:

保護者のみなさまへ

2007年の春、ミシガン州の学校は ELPA (English Language Proficiency Assessment : 日本語習熟度検定) の2回目を実施いたしました。連邦政府の定めた 'No Child Left Behind' ('落ちこぼれゼロ') 法は、キンダーから12年生までの子どもたちについて英語力の上達を毎年測ることを学校に課しています。

ELPA が判定するのはその学年でお子さんが知っているべき英語と、英語を使ってなにができるかということです。このレポートは、「聞く、読む、書く、話す、理解する」のそれぞれの分野における、お子さんの能力を表しています。お子さんが上述のすべての分野のテストを受けた場合は、全ての点数を合計した総合的な成績も含まれています。

このレポートについて質問がある方は、お子さんの先生または校長にご連絡ください。お子さんの学習を成功させるためには、保護者と学校との協力がたいへん大切です。

Sincerely,

Mike Flanagan
Superintendent of Public Instruction
State of Michigan

マイク フラナガン
ミシガン州 公共教育 最高責任者